

1 4 N J

3 S C ガ イ ド ブ ッ ク



石川県珠洲市「りふれっしゅ村 鉢ヶ崎」

平成 18 年 8 月 3 日(木)～8 月 7 日(月)

神 奈 川 ・ 千 葉 ・ 山 梨 ・ 埼 玉

参加隊の留意事項

1. 到着手続き

- (1) 参加隊長は、会場到着後直ちに3SC総務班へ行き、到着の手続きを行う。
提出書類 1. 参加報告書 様式 2及び2 2
2. 健康調査書
- (2) 副長は、会場到着後直ちに所属野営区へ行き、野営区長に到着の報告をし、サイトの指示を受ける。
- (3) その後、配給品、注文をした野営資材及び灯火用の燃料を受け取ること。
(時間・場所等は、別途指示があります。)

2. 野営区制

- (1) 3SCの運営には、野営区制を採用した。SC内を4つの野営区に分け、それぞれに野営区長、副区長をおき、参加隊が期間中快適な野営生活と楽しい活動が展開できるように指導・援助を行う。
- (2) 隊長会議を開催し、SCからの連絡事項を伝えるとともに参加隊からの要望事項をSCに伝える。**(JHQ SHQ 野営区長 参加隊)**
- (3) 参加隊日報を取りまとめ、SCに提出する。
- (4) 参加隊相互の親睦及び調整を図る。
- (5) 設営、撤営及び野営生活等の指導・助言を行う。(区内の規律の維持と安全確保)

3. 設営と野営基準

- (1) 隊長は、サイトが決定して設計にかかる際に、次の事項について隣接隊と協議してから設営にかかる。
境界の確認、通路の確保。
炊事場、テント地域などにお互いの隊が快適に生活できるように配慮すること。
- (2) 設営は、8月3日夕刻までには完了し、それ以降はジャンボリーのプログラムと生活を十分楽しめるよう配慮すること。
- (3) ジャンボリーの生活を楽しむとともに、野営生活も日々改善され、創意工夫がなされるよう努力する。
- (4) 参加隊は、火気の取り扱い及び火災発生の予防に万全の注意を払う。
特に灯油、ガソリン(照明用を除く)の使用を禁止する。
- (5) はだか火、炎がでる灯具をテントに持ち込まないよう、十分注意する。
- (6) 3SCでは、花火等の打ち上げと使用を一切禁止する。
- (7) 設営のために持ち込んだ資材及び現地購入の資材は廃棄の許可が出た物以外は全て持ち帰ること。

4. 野営管理

- (1) 隊長は、スカウト及び指導者の健康・安全に留意し、充実したジャンボリー生活が過ごせるよう次の事項に配慮する。
規律の維持と健康・安全について。
スカウトが楽しめるよう、プログラムに対する助言について。
塵芥と排水の完全な処理について。

(2) 諸会議と報告事項

隊長会議：野営区毎に8月4・5・6日の17時より開催されるので、隊長は必ず出席すること。

：SC全体の隊長会議が8月3日と7日の16時から開催されるので、必ず出席すること。

参加隊日報：参加隊日報（様式 3）を野営区長に毎日17時に提出する。

隊内においては、指導者会議及び班長会議を開催し、班会議の時間を設けること。

(3) 会期中、参加者が私用で場外に外出する時は「外出許可願」(様式 5)に必要事項を記入し、隊長の承認を得てSC総務班に提出し、「外出許可証」の交付を受けること

(4) 隊サイトを留守にする場合は、次の事項に注意する。

火気を完全に消したことを確認する。

テントのウォールを降ろし、出入り口の扉をしっかりと閉じる。

貴重品の管理。

近隣の隊同士で声をかけあい、保安に心がける。

(5) ごみの処理については、ごみの要因となるものの使用を極力抑えるとともに、可燃物・不燃物とも少量化をはかり、完全に分別してSCや野営管理班の指定する集積場所に整理して出すこと。**(ごみの分別、収集方法については別途指示があります。)**

(6) SC内主要道路には、水道管等が埋設してあるので、杭等を打ち込まないこと。

(7) 参加者の服装は、それぞれの活動にふさわしいものとする。

往復路の服装は、県連盟派遣団本部の指示するものとする。

開・閉会式、J大集会については、全体プログラム班より指示があります。

選択プログラムについては、プログラムガイドブックに示すものとする。

隊サイト内では、隊長の裁量により作業等にふさわしい服装とする。

5. 健康と安全管理

(1) スカウトの傷病の最終責任は、隊長にあることを認識する。

(2) スカウトの健康状態については、次により行う。

出発前、一週間の健康状態がどうであったかを確認する。

出発前日までの生活状況を把握する。(部活動、外泊旅行の有無など。)

期間中、定時に健康調査を行う。(朝の点検時、食事時など。)

(3) スカウトの生活習慣上の注意。

洗顔、水浴、着替えを励行する。(昼間着た衣類のまま就寝させないこと。)

(4) 衛生管理

手洗いの施設を完備し、手洗いを励行する。

食料品の管理(腐敗食品の処理) 調理者を清潔にするなど最大限の注意を払う。

配給食品の完全消化を図る。(残った食品を後で使うことなく廃棄すること。)

便秘者を把握し、対策をとる。

トイレは共同場所であることを認識し、お互い清潔に使用するよう心がける。

テント内外の乾燥、衣類の洗濯、乾燥を奨励する。

害虫の防除処理を行うこと。

傷病発生時の報告・・・どんな小さな傷病でも報告すること。(救護班・日報)

6. 生活排水の処理

- (1) 環境を考えたキャンプ生活の展開を目指すため、炊事の際に生じる生活排水から不純物を完全に除去する。排水は、ろ過装置等を用いて野菜類の切り屑や残飯等を完全に取り除いてから、SCの指定する場所に処理すること。
- (2) 洗剤に関しては、合成洗剤、有りん洗剤、シャンプー等を使用せず、無りん系の洗剤を選ぶなど、環境保全に努めること。
- (3) 生活排水は、自隊内で管理し、隣接隊に迷惑をかけること。

7. 安全管理と救護

- (1) 安全管理ハンドブックを熟読し、安全確保が習慣化するよう指導する。
- (2) 包丁、ナイフ、なた等の刃物の使い方、格納の安全管理を徹底する。
- (3) どんな小さなことでも、安全に支障をきたす要因を見逃さず、物品の管理だけに気を取られないで、“**気のゆるみ**”に留意する。
- (4) けがや急病が発生した場合は遠慮をせず、SC救護班にて手当てを受けること。
(健康調査書を忘れずに)
- (5) 隊内に“明るい話題・勇気づける話題”を提供し、明るい雰囲気の中で活動できるように努める。

8. 基本日課

- (1) 基本日課は以下のとおりとする。

5 : 3 0	炊事係起床
6 : 0 0	全員起床
7 : 0 0	朝食
8 : 0 0	点検・講評
8 : 3 0	国旗掲揚・朝礼
9 : 0 0	午前の活動
~	
1 1 : 3 0	昼食
~	
1 3 : 3 0	午後の活動
~	
1 7 : 3 0	夕食
1 8 : 3 0	国旗降納
1 9 : 0 0	友情の交歓
~	
2 1 : 0 0	
2 1 : 3 0	班長会議
2 2 : 0 0	就寝

- (2) 朝礼

各隊では、毎朝8時より点検を行い、その結果の講評を行う。その後8時30分の国旗の斉掲揚に合わせて、朝礼を実施する。

隊の朝礼の方法は各隊に一任されるが、短時間で規律正しく行う。

隊サイトに国旗は掲揚しない。

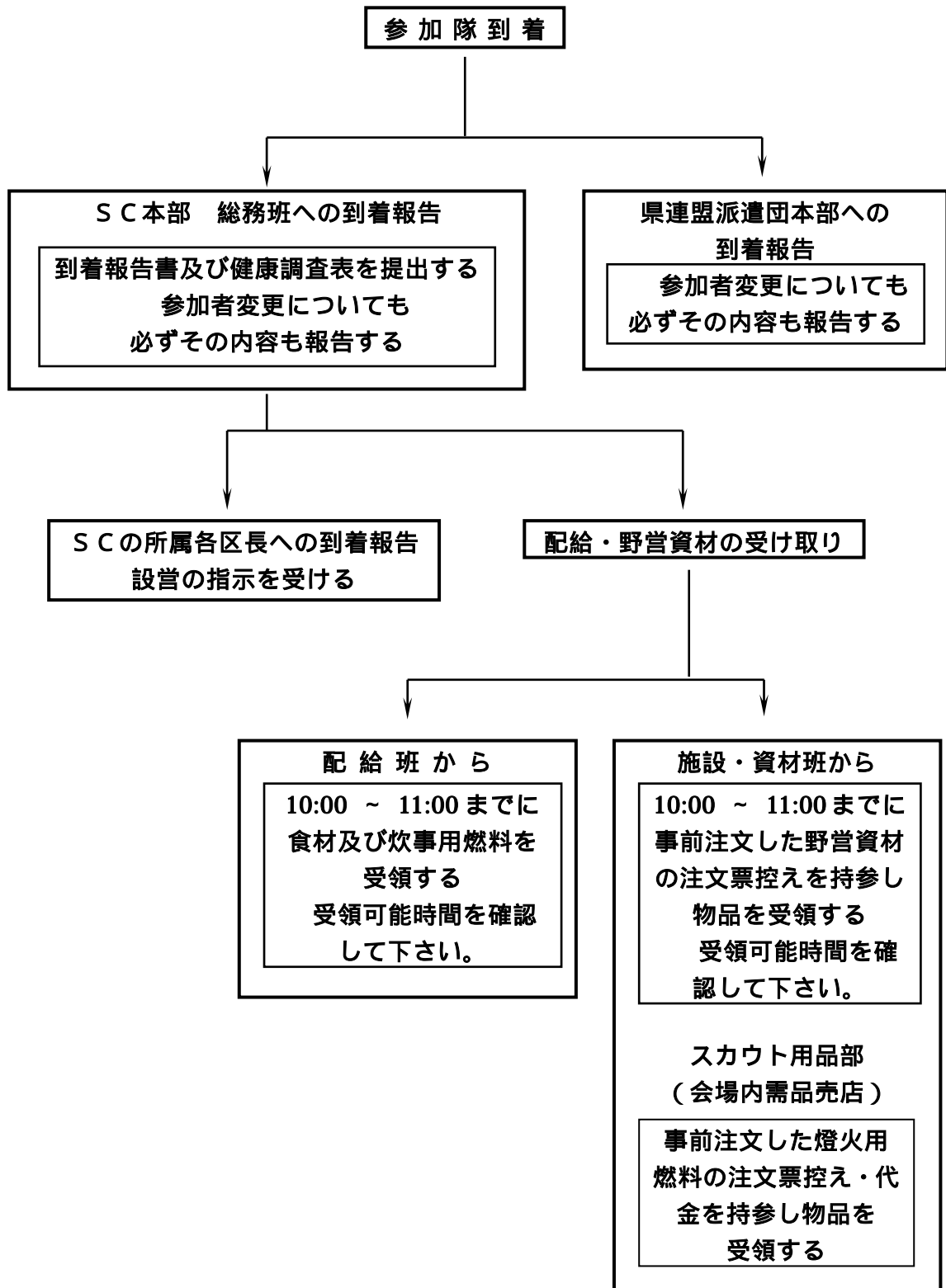
ＳＣ広場でのＳＣ朝礼、アリーナでの国旗掲揚式への参加は自由で、申込みの手続きも必要ない。

9 . ＳＣの対応窓口

(1) 参加隊の設営・撤営・プログラム・配給などについては、下記のＳＣ機関に問い合わせること。

- * 到着手続き、外出許可等に関する事 総務班
- * 日報提出、サイト割り、生活全般について 野営区長 野営管理班
- * 撤営報告、撤営許可に関する事 野営区長 野営管理班
- * 配給品に関する事 配給班
- * 全体行事、交換プログラムに関する事 全体プログラム班
- * 選択プログラム、ＳＣプログラムに関する事 . . . 選択プログラム班
- * 急病、負傷者に関する事 救護班
- * スカウトの悩みごと、相談したいこと 宗教班
- * 遺失物について 野営管理班
- * 一般の来訪者の受付、案内等に関する事 総務班
- * 往復の輸送等に関する事 所属県連盟派遣団本部

参加隊の到着手続き等



参加隊一覧

第 野営区 区長 渡辺 修 (埼玉) 副区長 小川 泰雄			第 3野営区 区長 佐久間 直人 (神奈川)副区長 小嶋 国昭		
1	埼玉 6	荒木 丹	1	神奈川 2 0	藤井 勇次
2	神奈川 1 4	鍵谷 正行	2	千葉 7	鷓澤 弘明
3	千葉 5	窪 純一郎	3	大阪 9	三原 聡
4	埼玉 7	三浦 亮	4	神奈川 2 1	本多 輝雄
5	神奈川 1 5	高橋 俊裕	5	千葉 8	加藤 里行
6	千葉 6	鷓澤 和史	6	大阪 1 2	宗石 憲宏
7	埼玉 8	脇田 大輔	7	神奈川 2 2	村松 保
8	神奈川 1 6	辰巳 哲夫	8	千葉 9	高橋 裕己
9	埼玉 9	高橋 克広	9	大阪 1 3	芳浦 卓司
1 0	神奈川 1 7	堀 格人	1 0	神奈川 2 3	平 尚紀
1 1	埼玉 1 0	山口 仁司	1 1	神奈川 2 4	小林 史朗
第 2野営区 区長 白井 正治 (千葉) 副区長 米田 啓治			第 4野営区 区長 中村 忍 (山梨) 副区長 渡辺 光夫		
1	埼玉 1 1	前田 耕太郎	1	埼玉 1 5	赤木 康宏
2	千葉 4	高橋 不二夫	2	神奈川 2 5	村田 功史
3	大阪 1	田中 伸介	3	山梨 1	臺 一彦
4	埼玉 1 2	飯島 秀司	4	埼玉 1 6	紫藤 俊介
5	千葉 1 9	那須野 俊行	5	神奈川 2 6	工藤 達也
6	大阪 8	市川 直幸	6	山梨 2	河野 芳樹
7	埼玉 1 3	重富 秋男	7	埼玉 1 7	内藤 秀明
8	千葉 2 0	時田 昌邦	8	神奈川 2 7	小瀬村 哲也
9	埼玉 1 4	渡辺 直幸	9	山梨 3	榎本 亜樹
1 0	千葉 2 1	笹生 厚生	1 0	埼玉 1 8	弓手 良行
1 1	千葉 2 2	児玉 正博	1 1	神奈川 2 8	金子 哲也

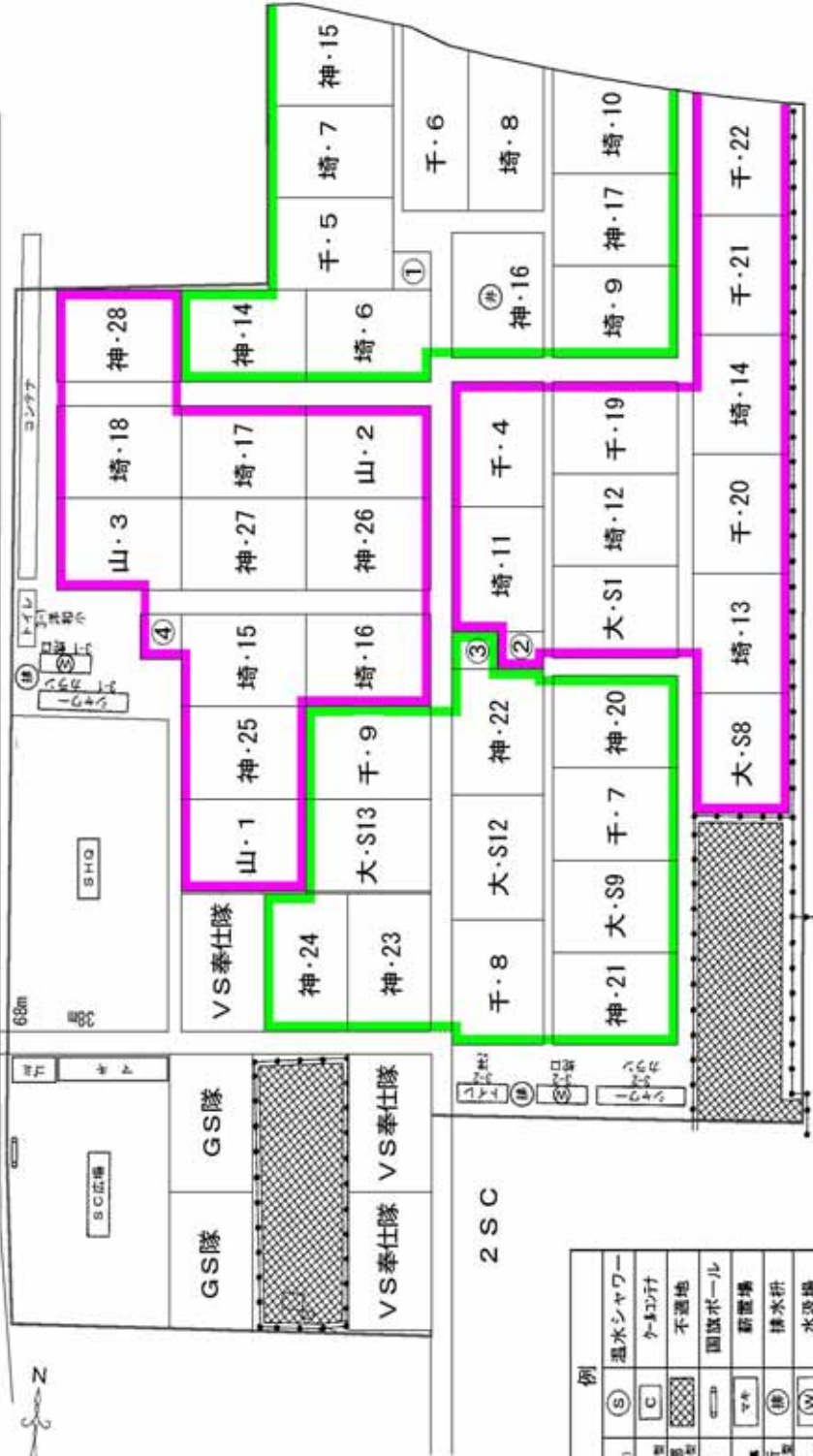
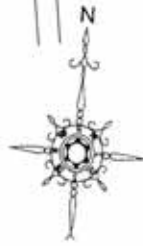
奉仕隊一覧

奉仕隊第 1 隊 (埼玉)	水上 大輔
奉仕隊第 2 隊 (千葉)	磯野 好広
奉仕隊第 3 隊 (神奈川)	近藤 明彦

3SC サイト割り図

平成18年 6月11日

(注) ④の防護



書	凡	例
書	⑤	温水シャワー
全	Ⓒ	カーポート
庫	Ⓓ	不遊地
P	Ⓔ	国旗ポール
Ⓖ	マキ	新置場
十	Ⓖ	積水研
倉	Ⓖ	水汲場
コンテナ	Ⓖ	コンテナ置場
ゴミ	Ⓖ	危険防止柵①
—	—	危険防止柵②
—	—	SC境界

10 25 50 80

池

奉仕隊運営要領

1. ねらい

- (1) 14NJの開催にあたり、SHQに配属されるVS奉仕隊の管理、運営に関する要領を定め、関係者の共通理解のもとに奉仕隊の円滑な運営と活動ができることをねらいとする。

2. 目的と任務

(1) 目的

14NJの開催趣旨に基づき、ベンチャースカウトとして平素の訓練の成果を発揮し「ちかい」と「おきて」の実践を通じてジャンボリーの運営全般に積極的に協力・奉仕することを目的とする。

(2) 任務

14NJ基本実施要領にあるように、奉仕隊は「14NJの貴重な構成員として14NJの準備及び運営全般にわたって積極的に協力・奉仕する。」と定められており、その具体的内容は下記の通りである。

SHQの設営及び撤営。

野営管理業務への協力。

サブキャンププログラム運営の補助。

配給品の受渡し業務への支援。

その他SHQ運営に必要な業務への協力。

(3) 呼称

3SC奉仕1・2・3隊

(4) 生活

3SC奉仕隊は、参加隊と同様に野営具を携行し設営する。また、食事についても配給を受け自炊とする。

(5) 集結と解散

3SC奉仕隊は、野営長の指示により参加隊より先発し、
8月2日(水)午前中に3SCサイトに集結し、
8月8日(火)午後に解散する。

3. 活動要領

(1) 奉仕隊ベンチャースカウトへの期待

14NJは多くの人々の協力と奉仕によって支えられるが、ベンチャースカウトはジャンボリーの意義を理解し、SHQの運営と活動に積極的な協力・奉仕をすることにより責任分担と任務遂行の重要性を体験し、この奉仕活動を通じてスカウトとしての自覚とより大きな成長を期待する。

(2) 基本的な考え方

奉仕隊の配置を受けたSHQが任務を付与する時は、次のことに留意する。

奉仕活動への理解を深める。

* 奉仕活動は、ベンチャースカウトの自己を確立するものである。

* 14NJへの奉仕は、即ちスカウト運動に奉仕することである。

* 心構え、体力、技能、言語、責任感、指導性、協調性など日常訓練の成果を

発揮する場である。

* 奉仕活動についての自覚をもち、自発活動により奉仕活動に積極的に参加することによって、他の人々に役立つ喜びを味わうものである。

任務の付与にあたって

* 年齢、能力、体力等を考慮し、過大な要求や期待があってはならない。

* 奉仕隊の勤務については、指揮命令系統を正確にし、統制のとれた秩序ある運用をしなければならない。

(3) 運用と勤務

運用

* 運用管理者 木南 信一 運営部長

* 運用責任者 各運営副部長

勤務

奉仕隊の勤務については以下の通りとし、運用管理者は日別勤務割を作成し、交代勤務をもって勤務を指定することを原則とする。

分類 (通称)	活動内容
特定任務隊 (特務隊)	特に与えられた任務
当番奉仕隊 (当番隊・当番班)	SC各班の要請事項
非番奉仕隊 (非番隊・非番班)	休養または自主的なプログラム

記録

運用管理者は、「14N」SC運営要領に定められている日報により、奉仕隊についての特記事項を記録しておく。

4. 要請と派遣

(1) 申請

奉仕を要請する運用責任者(要請者)は、前日の12時までに所定の申請書に必要事項を記入し総務班・奉仕隊係を経由して運用管理者へ申請する。(提出は、奉仕隊係)

(2) 派遣の通報

申請を受けた運用管理者は、各方面からの申請を集約し、奉仕隊の稼働能力等を勘案して派遣先、人員等を決定し、申請を受けた日の18時までに運用責任者(申請者)及び奉仕隊長に通報する。(調整は、奉仕隊係で行う。)

(3) 派遣場所(集合場所)

奉仕を要請した場合、奉仕隊の派遣場所(集合場所)の現地に班・係の責任者を指定時間の5分前までに配置し、奉仕隊の受入れ準備を整えなければならない。

奉仕を要請しておきながら、現地へ奉仕隊が着いても要請側の関係者が不在などの不手際のないように十分注意する。

(4) 業務の遂行

奉仕を要請する運用責任者(班・係の責任者)は、作業の目的・内容・方法・手段等を明確にして申請しなければならない。

業務の遂行を円滑にするために要請側の責任者は、奉仕隊が到着したとき相互に関係者名、人員及び作業内容、手順、指示事項等を十分確認し合うこと。

具体的な作業方法は、奉仕隊に一任する。

5．当番奉仕隊の勤務

(1) 勤務内容（一例を示す）

SHQの設営・撤営

* SHQの設営・撤営の補助

* サイトの整備

野営管理業務への協力

* 場内警備の補助

* 生活指導業務の補助

* 定時パトロール

配給

* 配給物品の受渡し業務の補助

行事

* 全体行事及び選択プログラム運営の補助

施設資材

* 資材の受渡し業務の補助

国旗の掲揚及び降納

その他14NJ、SCの運営に必要な業務の補助

(2) 勤務時間

勤務時間は原則として、8時30分より21時までとし、21時から翌朝8時30分までは待機時間とする。（但し、昼・夕食時間は除く）

勤務は作業内容の軽重、難易等により交替勤務とすることができる。

勤務の特殊性によっては、スカウトの希望と隊長の承認（他のスカウトのことも考慮する）により会期中、同一業務に就かせることができる。

緊急事態や災害などが発生した場合、運用管理者は運用責任者と隊長と協議のうえ、待機時間といえどもスカウトを召集することができる。また、非番奉仕隊（班）も同一とする。

6．特定任務隊の勤務

(1) 特定任務隊は、特に与えられた任務を遂行する。

(2) 勤務時間は、その都度定められた時間とする。

7．非番奉仕隊（班）

(1) 非番勤務となった隊（班）は、十分な休養をとる。

(2) スカウトがサイトを離れる時は、行き先・帰営時間等を隊長に報告してからとする。

(3) 非番中であっても、緊急事態等の発生により非常呼集があることを予期し、いつでも要請に対応できるようにしておくこと。（そなえよつねに）

8．奉仕隊の運営上の留意点

(1) SHQの関係者は、この『奉仕隊運営要領』を熟読し、運営について行き違いのないようにする。

- (2) 運用管理者は、関係者の同席を得て奉仕隊隊長会議を開催し、奉仕活動に対する連絡、調整等についてつねに意思疎通を図ること。
- (3) 奉仕の要請にあたっては、奉仕内容がV Sの奉仕にふさわしいかを考慮すること。
- (4) 隊長は、運営上の混乱防止のためスカウトに対し、正しい指示命令系統を理解させておくこと。但し、緊急事態等やむを得ない場合は最も適切と考えた判断で行動することも大切であることも十分指導しておくこと。
- (5) スカウトに対しては、厳しさと愛情をもって接するよう心がける。
- (6) 隊長は、隊・班以外の小グループを編成して作業をさせる時は、必ずそのグループに代表者を指名しておくこと。
- (7) スカウトへ作業や伝令の指示を与えた時、スカウトは「復唱」し、指示されたことを確認するよう指導しておくこと。
- (8) スカウトが出務、帰着の時は、必ず隊長へ点呼・報告をさせること。
- (9) 関係者は、スカウトの奉仕活動で安全と健康が保持できるよう心がけなければならない。
- (10) 大会運営は、それぞれの役割を分担し奉仕するものである。常に相手の立場を理解し、J H Q・S H Qの要員、奉仕隊指導者及びベンチャースカウトとしてより良い人間関係をつくり、友情を深め、楽しい奉仕活動を行い、1 4 N Jを成功させるよう努力しなければならない。

ＳＣ要員の留意事項

１．各班共通事項

(１) 班長・係長の任務

班長は、係長を通じ係員の部署、分掌を明確にして必要な指導を行い、係員の掌漣と指導・管理に責任を持つ。

班長は、係長を通じ係員の規律、野営基準の維持に責任を持つ。また、健康と安全管理及び厚生に留意する。

(２) ＳＣ要員の任務と生活

各要員は、配分されたテントにより、全員野営で生活する。

各要員は、担当する業務の分掌事項を熟知して、任務を遂行する。

ＳＣの業務時間は、以下の通りとする。

通常任務 ８：３０～２１：３０ 夜間当直 ２１：３０～８：３０

ＳＣ要員は、参加隊との対応に際して、言葉づかいに注意するとともにスマートネスに心がける。

起床時間（６：００）は、消灯・就寝時間を問わず、励行する。

消灯時間は、基本日課の時間（２２：００）の励行に努めるも、以降に必要な作業が続く場合は、班長の責任の下、他の要員の迷惑にならないように配慮して行う。

各班は、食事時に連絡、打合せを行うなど効果的に時間を活用する。

(３) 健康と安全管理

各要員は、自らの健康に留意するとともに、安全管理に努力する。

各班に安全係を置き、ＳＣ安全担当者の指示により所属する班内、各担当部署の安全管理に努める。

会場内の交通に留意し、許可車輛を運転する場合は定められた規則を遵守し安全に心がける。

２．ＳＣの朝礼

(１) 毎朝、ＳＣ広場において国旗の一斉掲揚に合わせて朝礼を行う。朝礼には、当直・作業中の要員を除き、全員が参集する。

(２) ＳＣの朝礼は、短時間で規律正しく行うものとする。(司会：総務班)

(３) 国旗の掲揚は、奉仕隊に依頼する。(降納も)

(４) 朝礼終了後にスカウトOWNを行い、その後必要事項の伝達、当日の任務の確認などを行う。

S Cの諸会議

会議名	招集者	出席者	開催日時	議事内容
S C本部会議	野営長	正副野営長 正副運営部長 総務班長	8/2 11:00 8/3 9:30 8/4 9:30 8/5 9:30 8/6 9:30 8/7 9:30	S C運営の大綱について
S C拡大運営会議	運営部長	正副運営部長 各班長 正副野営区長 奉仕隊長 派遣団本部長	8/2 11:00 8/7 13:30	設営について 撤営について
S C運営会議	運営部長	正副運営部長 各班長 野営区長	8/2 11:00 8/3 13:30 8/4 13:30 8/5 13:30 8/6 13:30 8/7 13:30	S Cの運営全般について
S C全体会議	野営長	参加隊長 S C全要員	8/3 16:00 8/7 16:00	連絡・調整 親睦
安全担当者会議	S C安全担当者	正副安全管理者 各班安全係 参加隊安全係	8/3 15:00	安全管理について
隊長会議	野営区長	参加隊長 正副野営区長 (選択プロ)	8/4 17:00 8/5 17:00 8/6 17:00	連絡・調整

* 隊長会議は、各野営区のテントで開催する。

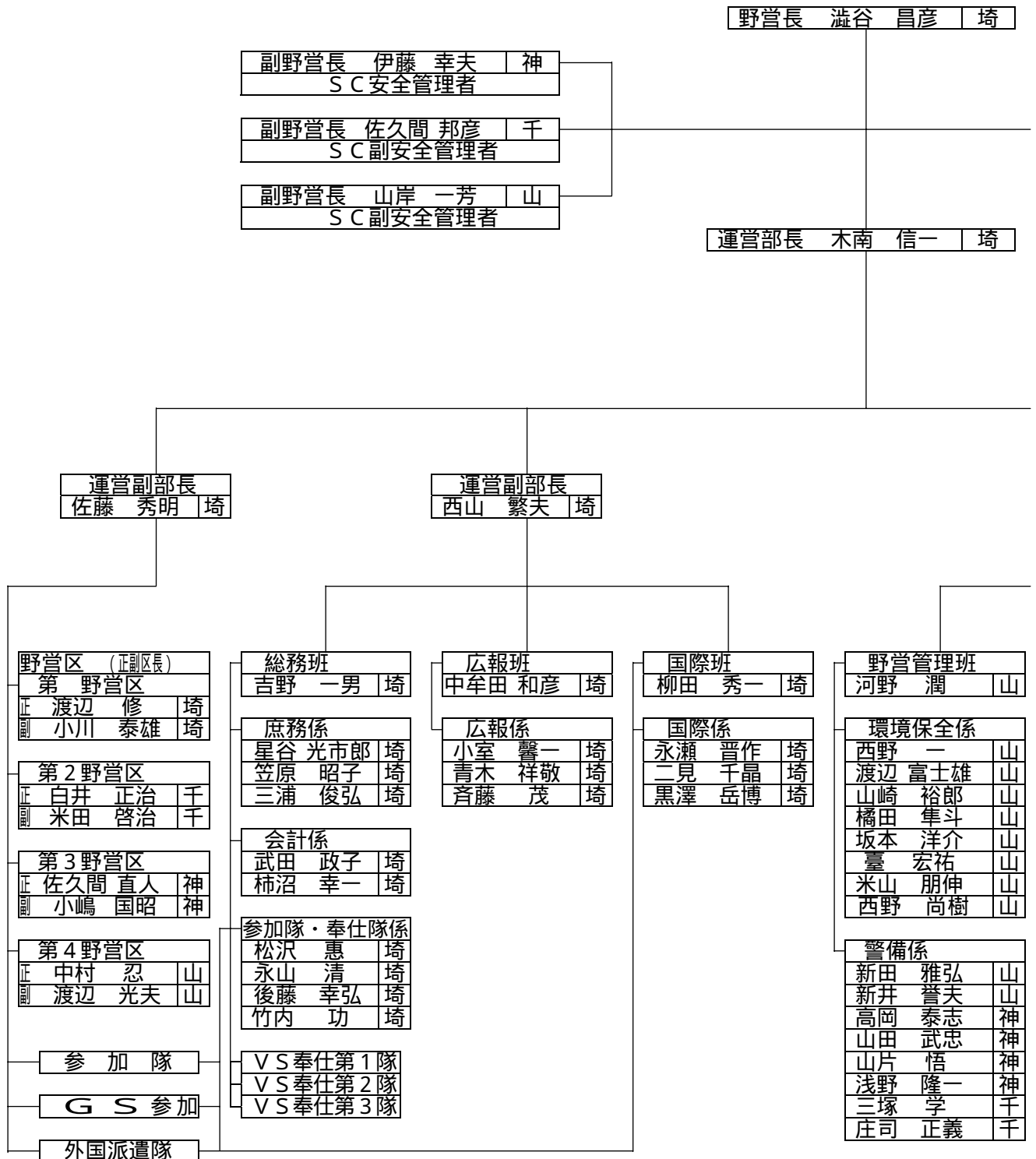
* S Cの諸会議は、S C会議所テント及び食堂テントで開催する。

S C スタッフ名簿

S C 役務	所属	氏名	S C 役務	所属	氏名
野営長	埼玉副理事長	澁谷 昌彦	庶務係	浦 和 5	笠原 昭子
副野営長	神奈川副理事長 安全管理者	伊藤 幸夫	庶務係	上 尾	三浦 俊弘
	千葉副理事長 副安全管理者	佐久間邦夫	会計係長	浦 和 2	武田 政子
	山梨副理事長 副安全管理者	山岸 一芳	会計係	栗 橋 1	柿沼 幸一
埼玉派遣団本部	県副理事長	菊地 英雄	参加隊係長	地区コミ	松澤 恵
	県連盟理事	鈴木 勝利	参加隊係	吉 川 2	竹内 功
	越 谷 5	吉澤 雅世	奉仕隊係長	埼玉県連盟理事	永山 清
	朝 霞 1	久保田 稔	奉仕隊係	団担当コミ	後藤 幸弘
	和 光 1	石山 貴宣	広報班 班長	埼玉県連盟理事	中牟田和彦
神奈川派遣団本部	県連盟理事	木村 耕三	広報班員	埼玉県連盟理事	小室 馨一
	川 崎 2 1	萩原 泉	広報班員	狭 山 1	青木 祥敬
	横 浜 9 2	岩波 信夫	広報班員	飯 能 2	斉藤 茂
	厚 木 7	高橋 一夫	国際班 班長	埼玉県連盟理事	柳田 秀一
	県連盟職員	高橋 久代	国際班員	浦 和 8	永瀬 晋作
千葉派遣団本部	県副理事長	佐久間邦夫	国際班員	鴻 巣 2	二見 千晶
	県連盟コミ	増田 秀夫	国際班員	三 郷 1	黒澤 岳博
	県連盟理事	石黒 秀彦	野営管理 班長	山梨県事務局次長	河野 潤
	県事務局長	星 淳一	環境保全係	都 留 1	西野 一
	柏 1 0	志村 尚男	環境保全係	河口湖 2	渡辺富士雄
	船 橋 1 2	福田 充夫	環境保全係	甲 府 2	山崎 裕朗
山梨派遣団本部	県連盟理事	鍋谷 正俊	環境保全係	甲 府 7	橘田 隼斗
	甲 府 3	日下部治俊	環境保全係	甲 府 2	坂本 洋介
運営部長	埼玉県連盟コミ	木南 信一	環境保全係	甲 府 6	臺 宏祐
運営副部長	埼玉県連盟理事	西山 繁夫	環境保全係	甲 府 4	米山 朋伸
	埼玉県連盟副コミ	佐藤 秀明	環境保全係	都 留 1	西野 尚樹
	神奈川県連理事	武井 靖典	警 備 係	富士地区事務長	新田 雅弘
	千葉県連盟副コミ	高桑 明	警 備 係	甲 府 1 0	新井 誉夫
	山梨県事務局長	平賀 武彦	警 備 係	横 浜 6 5	高岡 泰志
総務班 班長	埼玉県連盟理事	吉野 一男	警 備 係	横 浜 9 6	山田 武忠
庶務係長	埼玉県連盟理事	星谷光市郎	警 備 係	横 浜 6 2	山片 悟

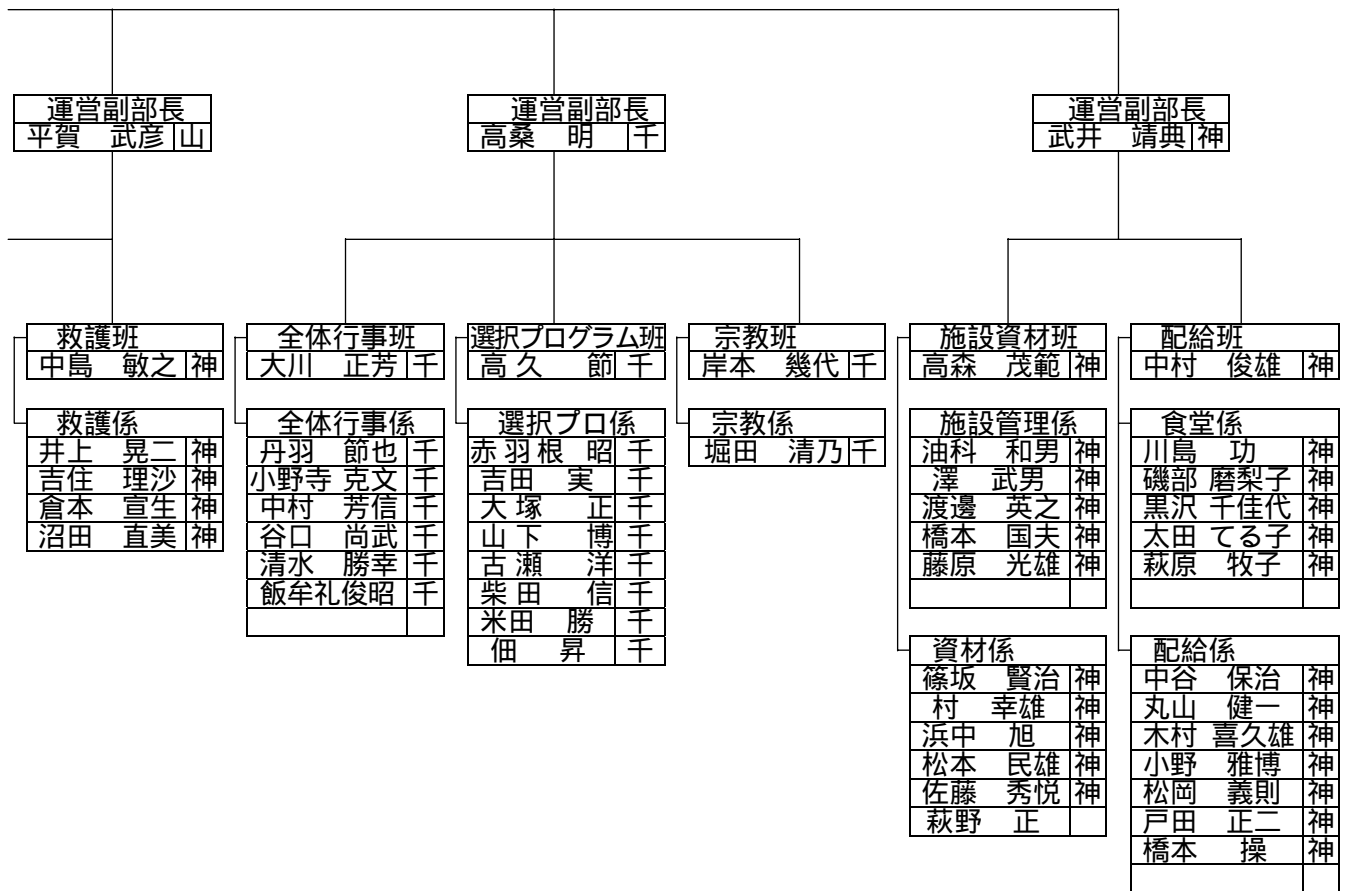
S C スタッフ名簿

S C 役務	所属	氏名	S C 役務	所属	氏名
警備係	相模原 2	浅野 隆一	施設管理係	愛川 2	藤原 満雄
警備係	旭 1	三塚 学	資材係長	横浜 8 2	篠坂 賢治
警備係	鴨川 1	庄司 正義	資材係	横浜 3	萩野 正
救護班 班長	横須賀 4	中島 敏之	資材係	横浜 3	佐藤 秀悦
救護班員	横浜 13 1	井上 晃二	資材係	横浜 8	浜中 旭
救護班員	平塚 3	倉本 宣生	資材係	横浜 2 0	松本 民雄
救護班員	座間 1	沼田 直美	資材係	横浜 8 1	村 幸雄
全体行事班 班長	千葉 地区コミ	大川 正芳	配給班 班長	神奈川連盟理事	中村 俊雄
全体行事班員	千葉県連盟理事	飯牟礼俊昭	食堂次長	平塚 1 1	川島 功
全体行事班員	流山 3	丹羽 節也	食堂係	横浜	服部 芳子
全体行事班員	流山 4	小野寺克文	食堂係	横浜 1 2 5	磯部磨梨子
全体行事班員	佐原 2	中村 芳信	食堂係	相模原 8	太田てる子
全体行事班員	市原 6	谷口 尚武	食堂係	神奈川県央地区	萩原 牧子
全体行事班員	松戸 1	清水 勝幸	配給次長	藤沢 1	中谷 保治
選択プログラム班 班長	千葉 2 2	高久 節夫	配給係	神奈川県央地区	橋本 操
選択プログラム班員	千葉 地区コミ	赤羽根昭男	配給係	逗子 1	丸山 健一
選択プログラム班	千葉 2 1	吉田 実	配給係	横浜 8 7	松岡 義則
選択プログラム班	船橋 1 4	大塚 正久	配給係	横浜 1 2 2	木村喜久雄
選択プログラム班	東金 1	山下 博行	配給係	横須賀 1 6	戸田 正二
選択プログラム班	鎌ヶ谷 2	古瀬 洋司	配給係	みなと地区	新井 淑雄
選択プログラム班	浦安 1	柴田 信次	第一野営区長	埼玉 地区コミ	渡辺 修
選択プログラム班	千葉 団コミ	米田 勝	第一野営区副区長	埼玉県連理事	小川 泰雄
選択プログラム班	八千代 4	佃 昇	第二野営区長	木更津 2	白井 正治
宗教班 班長	千葉県連盟副コミ	岸本 幾代	第二野営区副区長	船橋 7	米田 啓治
宗教班員	千葉 地区コミ	堀田 清乃	第三野営区長	横浜	佐久間直人
施設資材班 班長	神奈川連盟理事	高森 茂範	第三野営区副区長	川崎 4 3	小嶋 国晃
施設管理係 係長	綾瀬 2	油科 和男	第四野営区長	山梨連盟副コミ	中村 忍
施設管理係	綾瀬 1	澤 武男	第四野営区副区長	河口湖 2	渡辺 光夫
施設管理係	相模原 9	渡邊 英之			
施設管理係	横須賀 1 1	橋本 国夫			



組織図

県連盟派遣団本部						
県名	埼玉	神奈川	千葉	山梨		
本部長	菊地 英雄	木村 耕三	佐久間 邦彦	鍋谷 正俊		
本部長	鈴木 勝利	荻原 泉	増田 秀夫	日下部 治俊		
々々	吉澤 雅世	岩波 信夫	星 淳一			
々々	石山 貴宣	高橋 一夫	石黒 秀彦			
々々	久保田 稔		志村 尚男			
々々			福田 充夫			



全体行事班の運営内容

1. 開閉会式

(1) 開会式

日時 8月3日 入場 18:00 着席完了・開式 19:00 閉式 21:00
場所 アリーナ

(2) 閉会式

日時 8月7日 入場 18:00 着席完了・開式 19:00 閉式 21:00
場所 アリーナ

- ・第3サブキャンプ旗旗手はベンチャースカウト1名(出来れば幹事県連である埼玉連盟からお願いしたい)を選出する。
- ・県連盟代表スカウト1名を県連盟旗旗手として選出する。(各県連にて選出)
- ・各参加隊は 参加隊の班毎に班旗を事前に作成し、班旗をもって開閉会式に参加する。
- ・以上について、開会式・閉会式の誘導を行います。(奉仕スカウト18名~30名)
- ・過去の開閉会式の例から、3~4時間前から予行練習を行っており、今回はどのようになるか未定であるが、対応出来る体制とする。

2. ジャンボリー大集会の演技

日時 8月5日 入場 18:00 開式 18:50 閉式 21:00
場所 アリーナ

(1) ジャンボリー大集会において、第3サブキャンプとしての演技内容は、今回のテーマである「風の不思議を突っ走れ!」をイメージすることとする。

参加各隊より1名の代表スカウト総勢46名が参加します。

(内訳 埼玉13・神奈川13・山梨3・大阪5・千葉10・ガールスカウト2)

所用時間は入場から退場まで5分以内での演技です。

(2) 演技内容

風をイメージしたBGMにあわせ 登場する。

服装 (検討中) とする。

発砲スチロール製の飛行物体(ロケット・コプター)を飛ばし、風にのせる。

ロケット・コプターは時間差により空中から落下してくる。

ロケット・コプターには蛍光のシールを貼り、蛍光のシールが照明に反射しながら回転し観客席に落下する。

風をイメージしたBGMにあわせ 退場する

(3) 手順

- 1、代表スカウトにロケット・コプターを持たせる。
- 2、BGMにあわせステージにあがる。
- 3、ステージに全員あがったら、ロケット・コプターを観客席に向け発射する。
- 4、中央近くに来た時点で次のロケット・コプターを観客席に向け発射する。

- 5、最後にもう一度ロケット・コプターを観客席に向け発射する。
- 6、BGMにあわせステージからおりる。

3．交換プログラム

日時 8月4日、6日 19:00～21:00

場所 第3サブキャンプ内のステージおよび周辺において行う。

場所、時間に制約があるので、ステージ上で行う出し物や演技等は第3サブキャンプ内の各県連において事前に2～5程度の参加を募ることとする。

1出し物あたり、入れ替えを含めて10分とする。

(1日あたり120分のうち、開会、閉会時間を10分とすると出し物の時間は100分となり2日で200分となる。)

埼玉	13個隊	5
神奈川	13個隊	5
山梨	3個隊	2
大阪	5個隊	2
千葉	10個隊	4
ガールスカウト	2個隊	2

出場日程については 3SC全体プログラム部が調整し 事前に発表する。

4．予行練習

開会式・閉会式、並びにジャンボリー大集会の演技については 前述の通り 時間は未定であるが予行練習を事前におこないます。

このため 8月3日正午までに 代表スカウトの名簿を提出下さい。

第3サブキャンプ選択プログラムガイド

「風の不思議を突っ走れ」の第14回日本ジャンボリー第3サブキャンプの選択プログラムは、君たちの“チームワークと事前訓練”が勝負を決するよ

1. 火越しゲーム

キャンプの炊事は火起しの上手い班が絶対有利だよ！

3SCの火起しゲームは

- 1) 参加方法 あいの風プログラムに参加するスカウトが班単位で参加
- 2) 実施日 4日午前E午後D、6日午前C午後B、7日午前Aのグループ
- 3) 実施場所 3サブのスカウト広場
- 4) 準備する物 薪5本(会場での購入品)、ナタ、オノ、ナイフ(隊・班備品又は個人備品)、火床(班備品)、マッチ5本
- 5) 競技方法 薪組から糸が切れるまでの時間で競争する。制限時間は30分
- 6) 事前製作 ピタゴラススイッチは事前に製作して持参してね
(工夫が大事だよ)

ヒント

薪は太いより細いもの、硬い木より柔らかい、湿ったより乾いたものが火はつきやすいよネ。“事前に訓練をやった班が絶対有利だよ”

- 8) 表彰 優勝班全員にすばらしい優勝記念品があるよ

2. サイトコンテスト

第3サブキャンプのテントサイトは立木があり、テントの位置や炊事場等の位置に工夫が必要です。そこで君たちの訓練の成果をサイトコンテストで競ってみよう！！

- 1) 参加方法 第3サブキャンプを4ブロックに分けて実施する
- 2) 競技方法 ブロック内の隊サイトを他の各隊の班長が点検をし、結果を集計して点数で争う(自分のサイトは点検しない)
点数は、1位5点、2位3点、3位1点とする
- 3) 実施日 8月5日、7日に2回実施する(キャンプは日々の改善が大事)
- 4) 表彰 8月7日午後、最優秀班、優秀班を表彰する。

3. ファイティングスピリッツ(綱引き) 申込制

2班で1チームを作り、綱引きで班の結束力を競争する！

- 1) 参加方法 あいの風サイトに参加する隊の2班16名で1チームとする
(人数不足の班は同じ隊の他班の力持ちに協力を要請する)
- 2) 実施日 4～6日は午前・午後、7日午前
- 3) 実施場所 3サブのスカウト広場
- 4) 競技方法 トーナメント方式で競技は1分間の一発勝負！
負けて悔しいチームは敗者復活戦があるよ！
- 5) 表彰 優勝チーム全員にすばらしい優勝記念品があるよ

14NJ・3SCの皆様へ 救護班よりのお願い

1. SHQ救護班要員の皆様へ

14NJ・3SC救護班要員は参加者・見学者が楽しく・心に残るジャンボリーを体験出来るように、愛情を持って陰ながら支援することを旨とする。

救護班員は健康・安全・衛生管理に万全を期すとともに、救護班員たる誇りを持ってその業務に尽力しましょう。

安全は全てに優先する。救護班員は健康安全衛生管理のエキスパートとして指導的立場にあることを自覚してその業務に邁進しよう。

救護所が患者で繁盛してはならない。救護班員は救護所が3SCで唯一の心と体のオアシスとなるべく明るい話題と明るい雰囲気を提供し、快活で健康なジャンボリー生活が送れるように努力しましょう。

2. 参加隊指導者の皆様へ

14NJ・3SC 参加隊指導者はお預かりしたスカウトを吾が子の如く愛情を持って接しましょう。特に、スカウトの健康状態には十分留意して頂きたい。

健康・体調の自己管理に努めよう

3SC キャンプサイトは立ち木が少なく、日陰が殆どありませんので厳しい暑さが予想されます。特に、真夏の台風直後の北陸地方特有のフェーン現象の時は最高気温が35～40度を記録することもあります。その反動で海風が吹くと20度以下まで冷えることもあります。つきましては、衣服のコントロール等を上手にやって自己管理に努めましょう。特に、スカウトの指導を宜しくお願いします。

安全対策を万全に

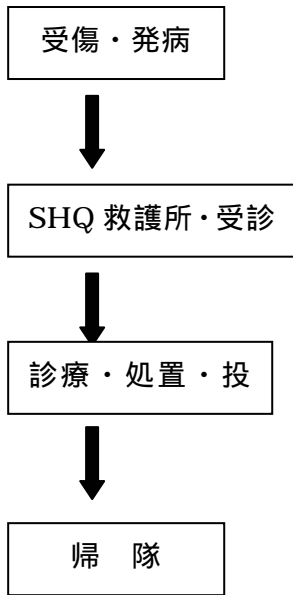
14NJでは燃料は薪に限定されており、巻き割り時の事故を危惧しております。また、会場周辺では蚊・アブ・ブヨ等の害虫類やマムシの出没が報告されております。更に、日陰のない会場での活動は熱中症の発生が予想されます。つきましては、安全対策は十分に行いましょう。

日々の健康チェックを厳重に

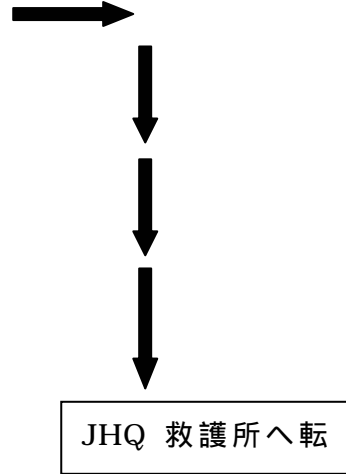
お預かりしたスカウトの日々の健康チェックは确实・厳重にお願いします。非日常的な生活を送るジャンボリーでは、ちょっとした体調の変化も見落としがちでましてジャンボリーで初めて預かるスカウトの変化には気付かないものです。不調を訴える時は自分の経験を生かして診ていただき、無理をしないで救護へ。救護所は24時間診療しております。遠慮なく声を掛けてください。

14N J・3SC救護所（受診から帰隊まで）

(1) SHQ 救護所

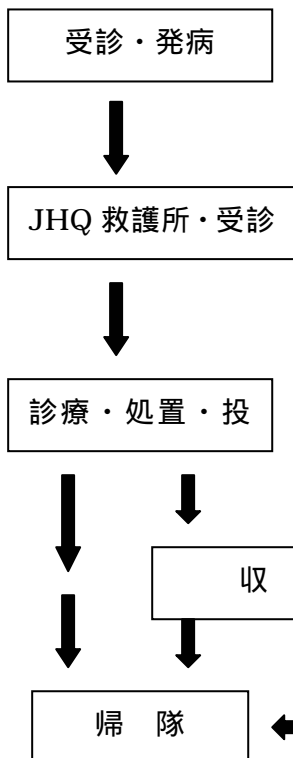


原則として健康調査書を持参



健康保険証写し・健康調査書を持参
SHQ 救護所より診療情報提供書を持参

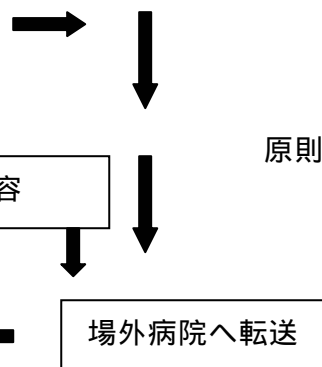
(2) JHQ 救護所



健康保険証写し・健康調査書を持参

原則として、着替え・飲料水を持参

健康保険証写しを持参



広報班

1. 任務

広報班要員は3SCに関する広報業務を処理し、併せてその活動を通じてボーイスカウト運動の普及を図ることを任務とする。

2. 担当業務

- (1) SCの活動記録に関すること
- (2) スカウトプレスに関すること
「スカウトプレス」実施に伴う用紙の配布、受け取り、パソコンへの入力、チャレンジシールの授与を行う。
- (3) マスコミ取材に関すること
JHQ広報部許可のSC取材におけるマスコミに対しての、取材対象となる部署・隊との窓口調整を行う。
- (4) SC内への情報提供
JHQ、SC発信の関係情報を野営区設置の掲示板等通じて伝達する。
3SC通信(SC内スカウト活動情報)を発行する(野営区掲示板へ掲示)。
- (5) ジャンボリープレス(新聞)、ホームページ、FM放送用情報としてSC内トピックス、独自イベント、隊交換情報などの取材を実施する。

3. 組織と編成

広報班は、班長1名と係長1名、係員2名の計4名で構成される。

班長は、班員を指揮し班の業務を統括する。

係長は班長を補佐する。また指示事項に基づき当該業務を行う。